

ディプロマ・ポリシー	2つの力	人間力 自立した一人の人間として生きるための力			創造力 芸術の力を社会に活かすための力		
	6つの能力	知識・情報収集力	コミュニケーション力	倫理観	論理的思考力	発想・構想力	表現力
	内容	自分をとりまく人間、社会、自然に対して開かれた好奇心をもち、自身の学修や企図に必要な知識と情報を、主体的かつ体系的に収集し理解することができる	人間の多様性を理解し、異なる価値観をもつ他者との間に相互理解を形成し、協働することができる	自身の良心と社会の多元的な理解に基づき、社会のために芸術の力を活かすことができる	所与の情報をもとに、物事を分析的かつ論理的に考えることができる	感性的な直観と理性的な分析や思考から得られた発想を統合し、具体的な研究・制作へと結びつくテーマや仮説として構想することができる	テーマや仮説を、適切な媒体・形式によってモノ・コトとして可視化し提示することができる
学科別 内容	過去から現在に至る芸術・文化・歴史・社会・思想に対して開かれた好奇心をもち、自己成長や作品制作・研究に必要な情報を主体的かつ体系的に収集し理解することができる		人間・文化・歴史・社会・思想の多様性を理解し、異なる価値観や立場をもつ人々との共生・創造を実現するため協働することができる	芸術・文化・歴史・社会・思想などの多元的な理解を軸として、常に他者への想像力と反省的視点をもって自らの知識や技術・能力を適切に社会に活かすことができる	芸術・文化・歴史・社会・思想などの知識をもとに、物事を学際的・分析的な批判的思考や論理的整合性を持って捉えることができる	豊かな想像力や感性と自身の専門性に基づく分析や思考を組み合わせた柔軟な発想によって、理論と実践と制作と研究などの垣根を横断したテーマや仮説を構想することができる	自らのテーマや仮説を論理的に整理しつつも、それらの枠にとらわれない独創的な新基軸を持って具体化することができる
学年	Q	段階	専門科目（必修）	専門科目（選択）	専門科目（選択）※コース別	芸術教養科目（必修）	芸術教養科目（選択）※履修推奨

4	16	発展	卒業研究・制作（8単位） 4年間の集大成 卒業研究・制作の仕上げ				
	15						
	14						
	13						
3	12	応用	進級研究・制作3（4単位） 自主制作・研究の追考、ディスカッション・フィードバック・ブラッシュアップ、領域横断				
	11		空間論（1単位） 「空間」を科学的に考え、展示空間の構成力を養う				領域研究5（2単位） 卒業研究・制作の中間発表とフィードバック
	10		素材論（1単位） 「素材」を科学的、歴史的に考える			領域研究4（2単位） 卒業研究・制作のプランニング・リサーチと発表	
	9		現代アート2（1単位） 現代アート理解：1970年代以降、現代までの美術の歴史	超域文化特論（2単位） クリティカル・シンキング	コンピュータ応用演習（2単位） プレゼンテーションスキルの実装	領域研究2（2単位） 自主研究・制作の中間発表とフィードバック	
2	8	基礎	進級研究・制作2（4単位） 専門技術・知識を用いた研究・作品の発表				
	7		文化人類学特論（1単位） 文化人類学の範囲と方法を知り、人間文化の多様性を学ぶ	キャリアデザイン研究（2単位） 様々なキャリアを知り、自身の進路の可能性を広げ、見通しを立てる	現代社会とアート（2単位） 現代における社会問題と芸術の役割	総合造形基礎演習6（2単位） 表現の展開と深化3 -領域的意識の拡張-	
	6		総合造形基礎演習5（2単位） 素材と技法と道具に触れる2 -道具を用いて精度を上げる-	アートマネジメント論（2単位） はじめてのアート・マネジメント	彫刻基礎演習（2単位） 彫刻分野の基礎を身につける。	デザイン基礎演習（2単位） デザイン分野の基礎を身につける。	
	5		キャリア研究応用（1単位） 自己と職業への理解を深め、インターンシップの準備と実践を行う	美術工芸基礎2（2単位） 研究・制作と社会への接続	絵画基礎演習（2単位） 絵画分野の基礎を身につける。	工芸基礎演習（2単位） 工芸分野の基礎を身につける。	

ディプロマ・ポリシー	2つの力	人間力			創造力		
	6つの能力	知識・情報収集力	コミュニケーション力	倫理観	論理的思考力	発想・構想力	表現力
	内容	自分をとりまく人間、社会、自然に対して開かれた好奇心をもち、自身の学修や企図に必要な知識と情報を、主体的かつ体系的に収集し理解することができる	人間の多様性を理解し、異なる価値観をもつ他者との間に相互理解を形成し、協働することができる	自身の良心と社会の多元的な理解に基づき、社会のために芸術の力を活かすことができる	所与の情報をもとに、物事を分析的かつ論理的に考えることができる	感性的な直観と理性的な分析や思考から得られた発想を統合し、具体的な研究・制作へと結びつくテーマや仮説として構想することができる	テーマや仮説を、適切な媒体・形式によってモノ・コトとして可視化し提示することができる
学科別内容	過去から現在に至る芸術・文化・歴史・社会・思想に対して開かれた好奇心をもち、自己成長や作品制作・研究に必要な情報を主体的かつ体系的に収集し理解することができる	人間・文化・歴史・社会・思想の多様性を理解し、異なる価値観や立場をもつ人々との共生・創発を実現するため協働することができる	芸術・文化・歴史・社会・思想などの多元的な理解を軸として、常に他者への想像力と反省的視点をもって自らの知識や技術・能力を適切に社会に活かすことができる	芸術、文化、歴史、社会、思想などの知識をもとに、物事を学際的・分析的な批判的思考や論理的整合性を持って捉えることができる	豊かな想像力や感性と自身の専門性に基づく分析や思考とを組み合わせた柔軟な発想によって、理論と実践や制作と研究などの垣根を横断したテーマや仮説を構想することができる	自らのテーマや仮説を論理的に整理しつつも、それらの枠にとらわれない独創的な新基軸を持って具体化することができる	
学年	Q	段階	専門科目（必修）	専門科目（選択）	専門科目（選択）※コース別	芸術教養科目（必修）	芸術教養科目（選択）※履修推奨

		進級研究・制作1 (2単位) 学びの定着 - ドキュメントブックの制作										
4	超域文化論 (2単位) 知を遊ぶ											
	文化資源学概論 (2単位) 文化資源の価値と文化財保存修復に関する制度を知る											
	アカデミックライティング (1単位) 研究・制作のためのレポート・文章の書き方を学ぶ											
	工芸概論 (2単位) 近代以降の日本の工芸	キャリア研究基礎 (1単位) 理想の学生生活・将来設計 (進路) をつくる	芸術と社会 (1単位) 芸術による社会変革の可能性を考える	総合造形入門演習3 (2単位) 表現の展開と深化1 -領域的意識の構想-		美術工芸入門3 (2単位) 先例をまねぶ						
3	アカデミックリサーチ (1単位) 研究・制作のための調査と情報収集の方法を学ぶ											
	芸術と自然1 (1単位) サイエンスの視点から、自然を探求する											
1 夏 入 門	デッサン演習3 (2単位) 観察力や構造理解の集大成として、人間を (人体ヌード) を描く											
	芸術教養論 (1単位) 大学での学び方を学ぶ	デッサン演習2 (2単位) 観察力や構造理解の更なる向上を目指し、人体と石膏像を描く										
2	美術工芸入門2 (2単位) みることの探求-調査と観察	芸術と心理2 (1単位) 人間の感覚・知覚・認知のしくみと芸術の関連について学ぶ										
	文化遺産論 (2単位) 文化遺産の意義と価値を知る											
	美術概論 (2単位) 近代以降の美術、制作者にとっての美術史・作品研究											
	総合造形入門演習2 (2単位) 素材と技法と道具に触れる1 -素材に対する技法を知る-											
	美術史2 (1単位) ヨーロッパの美術の基礎的な歴史を学ぶ											
	美術論2 (1単位) 20世紀前半の西洋美術論の日本における受容と展開											
	芸術文化概論 (2単位) 京都芸術大学で美術工芸を学ぶことの意義を知る	芸術と心理1 (1単位) 芸術を生み出し芸術を感じる人のこころを学ぶ										
			総合造形入門演習1 (2単位) 彫刻演習-かたちへのまなざし-			美術工芸入門1 (2単位) みることの探求-認知と描写						